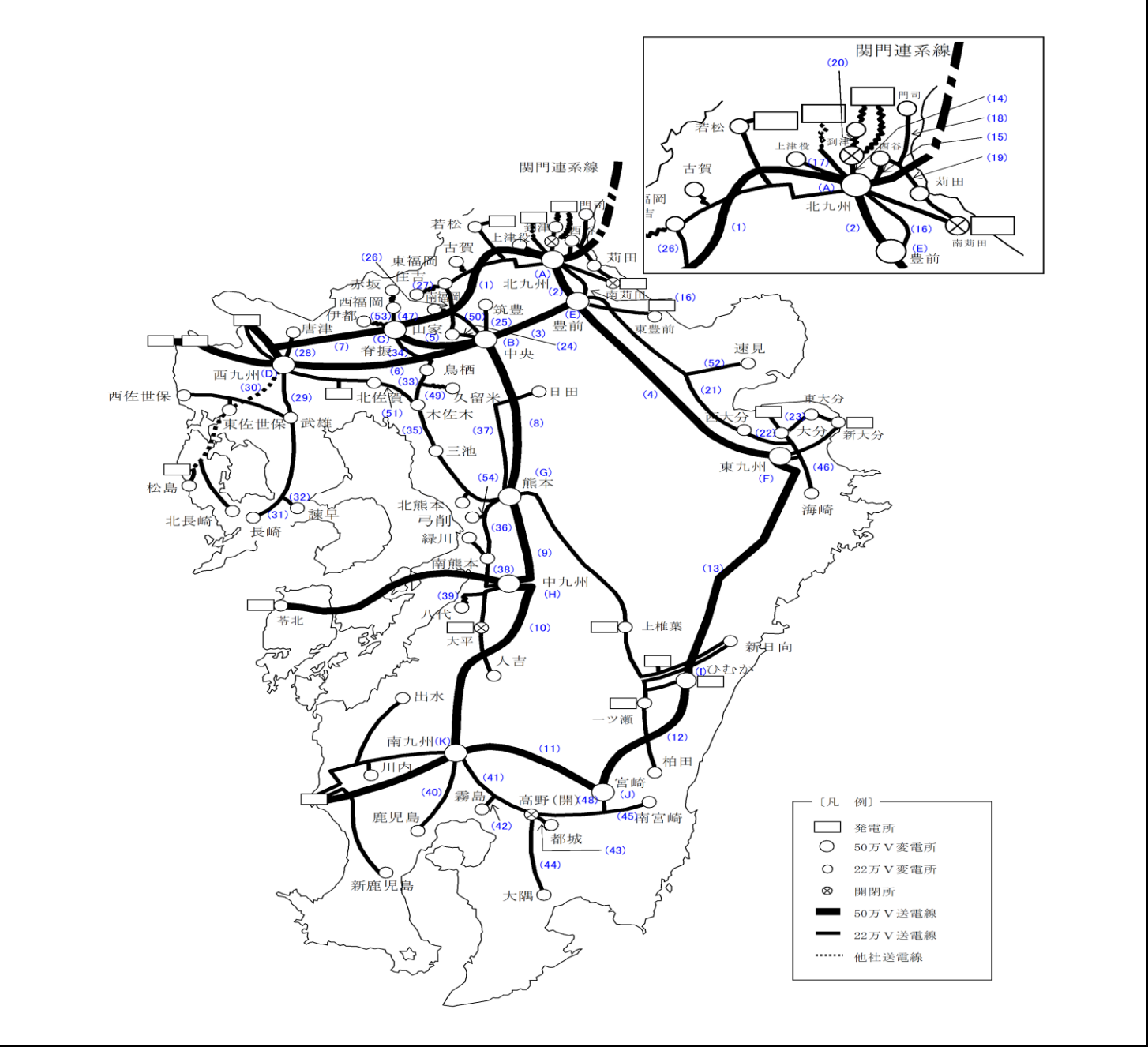


# 地内制約要因一覧 (九州電力送配電株式会社)

地内制約要因一覧（系統図）

会社名：九州電力送配電



地内制約要因一覧（送電線）

会社名：		九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リッジ有無 「Yk/W」	想定故障	敷線値 [Yk/W]	備考	決定 要否
1	500	北九州幹線	苅振変⇒北九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			北九州変⇒苅振変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
2	500	豊前北幹線	豊前変⇒北九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			北九州変⇒豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
3	500	豊前西幹線	豊前変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中央変⇒豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
4	500	東九州幹線	東九州変⇒豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658.1		○
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			豊前変⇒東九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658.1		○
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
5	500	苅振幹線	苅振変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658.1		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中央変⇒苅振変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658.1		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
6	500	佐賀幹線	西九州変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	320.1		○
				同期	—	電制	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中央変⇒西九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	320.1		○
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
7	500	玄海幹線 2 L 南線	西九州変⇒苅振変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658		○
				同期	—	電制	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			苅振変⇒西九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658		○
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
8	500	熊本幹線	熊本変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中央変⇒熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	

### 地内制約要因一覧（送電線）

会社名：			九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リッジ電無 [F3kV]	想定故障	故障確 [F3kV]	備考	決定 理由	
9	500	中九州幹線	中九州変⇒熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○	
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			熊本変⇒中九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
10	500	南九州幹線	南九州変⇒中九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○	
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			中九州変⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○	
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
11	500	宮崎幹線	宮崎変⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			南九州変⇒宮崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○	
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
12	500	小丸川幹線	宮崎変⇒ひむか変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	164.5		○	
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			ひむか変⇒宮崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	164.5		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
13	500	日向幹線	東九州変⇒ひむか変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○	
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			ひむか変⇒東九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○	
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
14	220	横田線	横田 s w s ⇒北九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
			北九州変⇒横田 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略					
15	220	西谷線	北九州変⇒西谷変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			西谷変⇒北九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
16	220	北九州豊前線	豊前変⇒北九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			北九州変⇒豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					

### 地内制約要因一覧（送電線）

会社名：			九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リッジ有無 [FEM]	想定故障	故障確 [FEM]	備考	決定 理由	
17	220	上津役線	北九州変⇒上津役変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			上津役変⇒北九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
18	220	西谷門司線	西谷変⇒門司変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			門司変⇒西谷変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
19	220	河田分枝線	河田変⇒西谷変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			西谷変⇒河田変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
20	220	別津線	別津変⇒横田 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	45.8	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			横田 s w s ⇒別津変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	45.8	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
21	220	大分北線	西大分変⇒豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			豊前変⇒西大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
22	220	大分南線	大分変⇒西大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			西大分変⇒大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
23	220	東大分線	東大分変⇒大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	72.3	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			大分変⇒東大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	72.3	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
24	220	山家線	中央変⇒山家変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	140.7	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			山家変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	140.7	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	○
				同期	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	

### 地内制約要因一覧（送電線）

会社名：			九州電力送配電										
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リソース有無 (FEM/M)	想定故障	故障確 率[FEM]	備考	決定 理由		
25	220	筑豊線	中央変⇒筑豊変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○		
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略			
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略			
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略			
			周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			筑豊変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○		
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略			
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略			
周波数上昇	—	—		—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
26	220	山家変⇒東福岡変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.6		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略				
		周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略			
		東福岡変⇒山家変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.6		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
周波数上昇	—		—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
27	220	東福岡変⇒住吉変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	65.7		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略				
		周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略			
		住吉変⇒東福岡変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	65.7		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
周波数上昇	—		—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略					
28	220	西九州変⇒唐津変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	51.2		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略				
		周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略			
		唐津変⇒西九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	51.2		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
周波数上昇	—		—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略					
29	220	西九州変⇒武雄変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略				
		周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略			
		武雄変⇒西九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
周波数上昇	—		—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
30	220	東佐世保変⇒西九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略				
		周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略			
		西九州変⇒東佐世保変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
周波数上昇	—		—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略					
31	220	武雄線⇒長崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略				
		周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略			
		長崎変⇒武雄変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
周波数上昇	—		—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略					
32	220	武雄線⇒諫早変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略				
		周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略			
		諫早変⇒武雄変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○			
			同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
			電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略				
周波数上昇	—		—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略						
周波数低下	—	—	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略					

### 地内制約要因一覧（送電線）

会社名：			九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リソース有無 (FES/M)	想定故障	故障確 率[FES/M]	備考	決定 要旨	
33	220	鳥橋木佐木線	木佐木変⇒鳥橋変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
			鳥橋変⇒木佐木変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
34	220	青瓶鳥橋線	青瓶変⇒鳥橋変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
			鳥橋変⇒青瓶変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
35	220	木佐木三池線	三池変⇒木佐木変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
			木佐木変⇒三池変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
36	220	熊本南熊本線	南熊本変⇒熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
			熊本変⇒南熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
37	220	熊本日田線	熊本変⇒日田変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	38.3	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
			日田変⇒熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	38.3	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
38	220	中九州南熊本線	中九州変⇒南熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
			南熊本変⇒中九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	—	—
39	220	八代分岐線	中九州変⇒八代変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	34.9	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—
			八代変⇒中九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	34.9	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—
40	220	鹿児島南線	南九州変⇒鹿児島変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	61.2	—	○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—
			鹿児島変⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	61.2	—	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	—	—
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	—	—

### 地内制約要因一覧（送電線）

会社名：			九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リッジ有無 [FEMW]	想定故障	数値値 [FEMW]	備考	決定 理由	
41	220	高野線	南九州変⇒高野 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			高野 s w s ⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
42	220	霧島分枝線	南九州変⇒霧島変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
			霧島変⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
43	220	都城線	高野 s w s ⇒都城変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			都城変⇒高野 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
44	220	大隅線	高野 s w s ⇒大隅変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	108.5		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			大隅変⇒高野 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	108.5		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
45	220	南宮崎線	南宮崎変⇒高野 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
			高野 s w s ⇒南宮崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略		
46	220	海崎線	東九州変⇒海崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	64.8		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
			海崎変⇒東九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	64.8		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
47	220	脊振西福岡線	脊振変⇒西福岡変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	217.1		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
			西福岡変⇒脊振変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	217.1		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
48	220	宮崎分枝線	南宮崎変⇒宮崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
			宮崎変⇒南宮崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○	
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略		
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略		



## 地内制約要因一覧（送電線）

会社名：		九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リッジ有無 「Yk/M」	想定故障	数値値 「Yk/M」	備考	決定 要否
49	220	久留米分岐線	鳥栖変⇒久留米変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	54.4	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			久留米変⇒鳥栖変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	54.4	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
50	220	中央南福岡線	中央変⇒南福岡変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	52.3	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			南福岡変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	52.3	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
51	220	北佐賀木佐木線	北佐賀変⇒木佐木変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			木佐木変⇒北佐賀変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
52	220	遠見分岐線	西大分変⇒遠見変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	64.8	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			遠見変⇒西大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	64.8	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
53	220	脊振伊都線	脊振変⇒伊都変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	36.8	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			伊都変⇒脊振変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	36.8	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
54	220	弓削分岐線	南熊本変⇒弓削変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	77.1	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			弓削変⇒南熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	77.1	—	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	

地内制約要因一覧（フェンス）

会社名：		九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	フェンス名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ブリンク有無 [FlickMit]	想定故障	概算値 [FlickMit]	備考	決定 箇所
101	500	大分フェンス（No.4+No.13）	西向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の運用指標であるため対象外	
				同期	Y法	電制	無	2cct3q6LGO	300		○
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			東向	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の運用指標であるため対象外	
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	運用上、蓋然性の高い方向で算出し、逆方向については算出省略	
102	500	西部フェンス（No.6+No.7）	東向	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の運用指標であるため対象外	
				同期	Y法	電制	無	2cct3q6LGO	760		○
			西向	電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の運用指標であるため対象外	
103	500	南部フェンス（No.10-No.13）	北向	同期	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の運用指標であるため対象外	
				電圧	-	-	-	-	-	運用上、蓋然性の高い方向で算出し、逆方向については算出省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			南向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の運用指標であるため対象外	
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	運用上、蓋然性の高い方向で算出し、逆方向については算出省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略					

# 地内制約要因一覧（変電所）

会社名：		九州電力送配電									
No.	電圧[kV]	変電所名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	フリック有無 [FlickM]	想定故障	数値値 [FlickM]	備考	決定 数値
A	500/220	北九州変電所 2B	順	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
B	500/220	中央変電所 2・3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	237.5		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	237.5		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
C	500/220	苅振変電所 2・3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	237.5		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	237.5		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
D	500/220	西九州変電所 2・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
E	500/220	豊前変電所 3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
F	500/220	東九州変電所 2・3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	356.3		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	356.3		○
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
G	500/220	熊本変電所 3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	95 118.7	2030年：主要増強[100万kVA×1台⇒100万kVA×2台]	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	95 118.7	2030年：主要増強[100万kVA×1台⇒100万kVA×2台]	○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
H	500/220	中九州変電所 1B	順	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	

地内制約要因一覧（変電所）

会社名：			九州電力送配電								
No.	電圧[kV]	変電所名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	フリック有無 [FlickW]	想定故障	数値値 [FlickW]	備考	決定 属性
I	500/220	ひむか変電所 4B	順	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
J	500/220	宮崎変電所 3B	順	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無		95		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
K	500/220	南九州変電所 3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	